

指定校番号	30014	学級活動	児童会活動	クラブ活動	○	学校行事
-------	-------	------	-------	-------	---	------

平成30年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	安芸太田町立加計小学校	校長	林 文麿	生徒指導主事	田尾 佐智恵
-----	-------------	----	------	--------	--------

**取組事例名 『児童が参画する学校行事～運動会での応援合戦～』**

**取組における育てたい資質・能力**

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「伝え合う力」	2	「課題発見力」	3	「自己肯定感」	1

**取組のねらい『キーワード 児童参画』**

学校行事において、自主的に活動できる場所を創意工夫して取り組ませ、成就感を味わわせる。

**取組の具体的内容『キーワード 高学年から全校へ』**

今年度は、各行事で一部を児童に任せるということを明確にし、児童にも知らせ、取組を始めた。1年生歓迎遠足、運動会、マラソン大会、学習発表会で様々な形で児童が参画する行事となった。

中でも、運動会では、児童から「応援合戦をやりたい。」という声があがり、職員で協議し実施することにした。

- 6年生で運動会のテーマを決定する。  
テーマ『絆～全力で熱く燃えろ～』
- 代表委員会で運動会を盛り上げる方法について話し合う。  
代表委員会の話し合いで決まったことは、児童会本部からプリントにまとめて各学級に伝え、全校児童に周知を図った。
- 各担当で計画・準備する。  
応援合戦については、応援リーダーを各組から選出し、準備・練習をしていった。



- 本番  
当日は雨のため、体育館での実施となったが、初めての応援合戦を成功させることができた。



### 取組の課題・創意工夫『キーワード 流れを作る』

・昨年度までの学校行事は、自分たちで作り上げているという思いがもてるまでではなかったのですが、今年度は、年度当初から、学校行事の一部を児童に任せるということを明確にし、児童会本部で年間計画を立てるところからスタートした。1年生歓迎遠足では、「新1年生に加計小学校に来てよかったなと思ってもらい、加計小学校になじんでもらおう。」というめあてを掲げ、準備・計画をしてきた。めあてを自分たちで決めたことで、どの活動もめあてから逸れることなく、実施することができた。

・1年生歓迎遠足の成功が次の行事への意欲となり、運動会で応援合戦がしたいという声が出てきた。職員の計画では、全校競技を任せてみようかと計画していたが、児童からの声を優先し、実施することにした。

・応援合戦は初めての取組である。どんな応援をするのか、どんな流れにするのかなど、細かいことを児童だけでは決められないので、応援合戦担当の職員が支援をしながら取組を進めていった。全校児童の前には、高学年が立ち指導することで、自分たちでやっているという実感をもてていた。

### 取組の成果（効果）『キーワード 主体性』

・6年生の学校行事カード（運動会）の「自分から進んで取り組もうとした」という項目を見てみると、「よくできた」と評価した児童が、昨年度は73%だったが、今年度は93%に上昇していた。

・運動会後のマラソン大会や学習発表会について、児童会本部の話し合いや代表委員会で、昨年度までやっていなかった取組のアイデアを積極的に考えるようになってきた。自分達が学校行事に参画し、盛り上げるために、どんな工夫ができるかを主体的に考え、実行する力、評価する力、振り返る力がついてきた。

### 今後の展開『キーワード 継続』

・学校行事に児童が参画することを来年度からも続けていきたい。そのためには、職員の計画段階で、行事担当と児童会担当がしっかり連携をとり、全教職員で意識統一をして取り組んでいくことが重要である。また、今年度の取組を児童会本部でしっかり振り返り、新児童会役員に引き継げるようにしていきたい。

### 他教科との関わり『キーワード 話し合い』

・1つの行事について取組を考え、実行していくまでには、児童会本部、各学級、代表委員会、各係や担当など様々な集団で話し合いをしていく必要がある。折り合いをつける話し合いの仕方を身につけられるよう、学級活動（1）の話し合い活動を充実させていきたい。